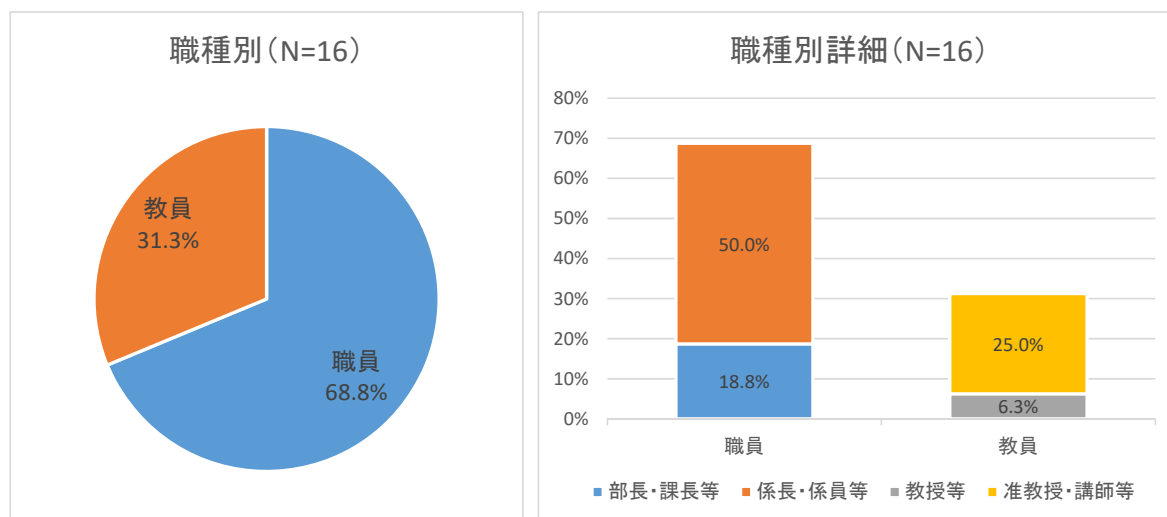


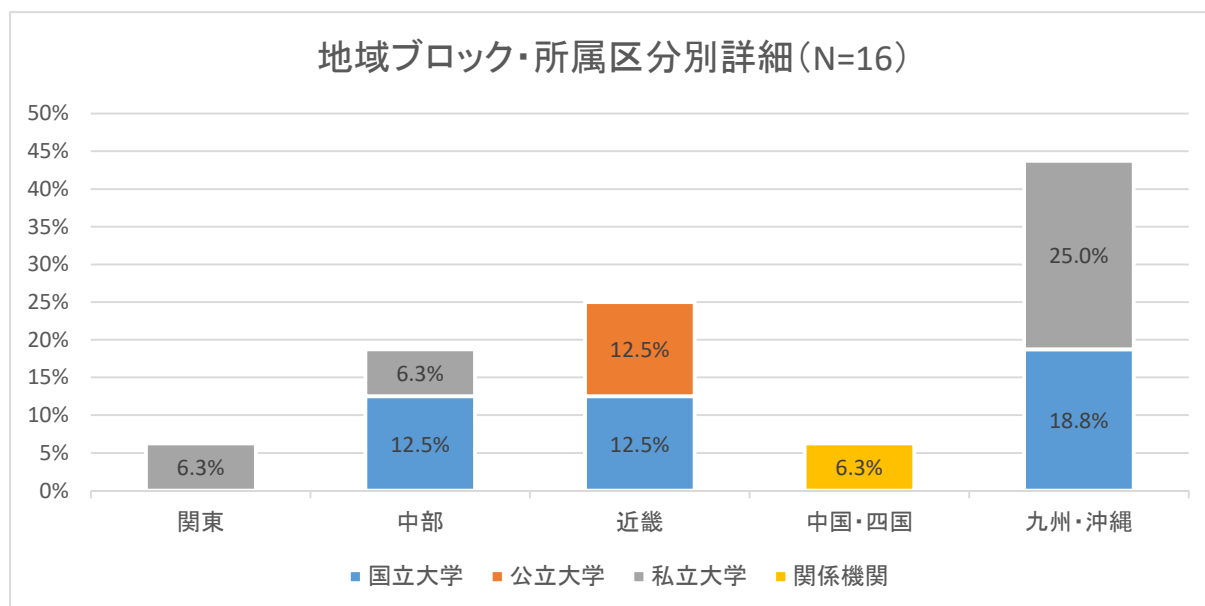
## ○ 参加者について

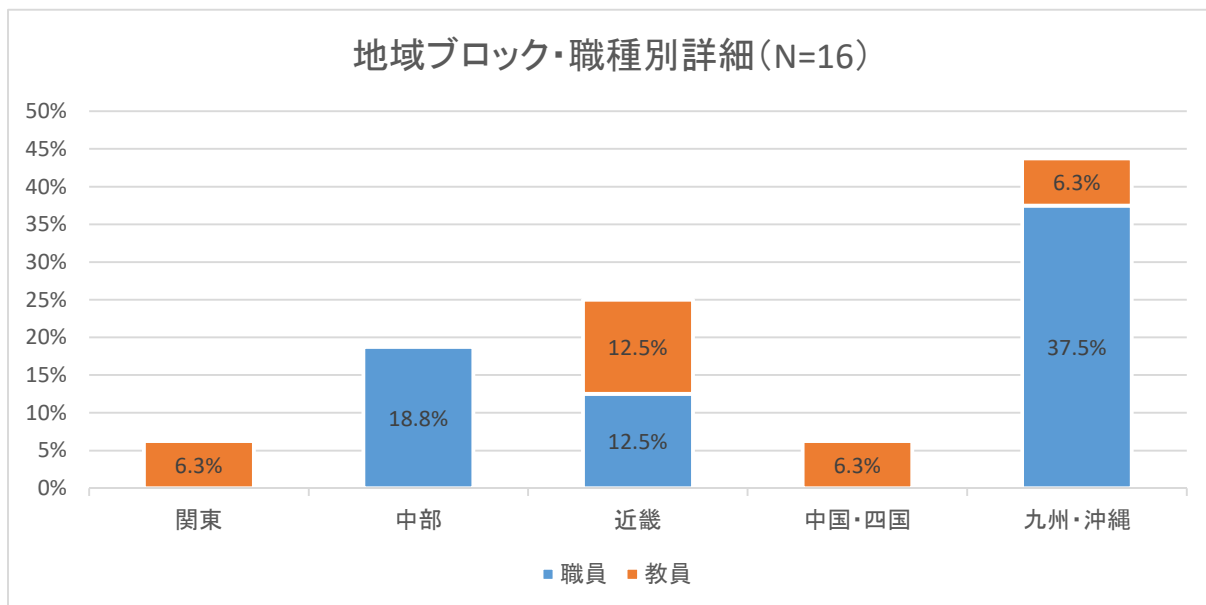
平成 28 年度第 2 回 IR 初級人材研修会（パイロット事業）の入門編には、16 名（第 1 回：20 名）の教職員等が参加しました。各参加者が申し込み時に申請した所属・職種等の情報を基に、参加者の属性分析を行いました。



職種別の参加者比率は、職員が 68.8%（第 1 回：80.0%）、教員が 31.3%（第 1 回：20.0%）でした。また、職員の職層を「部長・課長等」及び「係長・係員等」、教員の職層を「教授等」及び「准教授・講師等」に分けて示します。職員の係長・係員等が 50.0%（第 1 回：65.0%）と最も多く、次が教員の准教授・講師等で 25.0%（第 1 回：20.0%）でした。事前に集めた質問等によると、スタッフ配置等の IR 体制、関係部署との連携、IR 業務の選定、ファクトブックの体裁、記名式アンケートの実施状況等があげられていました。

所属区分別では、国立大学が全体の 43.8%（第 1 回：私立大学 65.0%）を占めており、特に九





九州・沖縄地区の私立大学が 25.0%と最も多く、次が同地区の国立大学が 18.8%でした。また、地域ブロック別では、九州・沖縄地区が全体の 43.8%（第1回：関東地区 75.0%）を占めており、特に九州・沖縄地区の職員が 37.5%と最も多く、次が中部地区の職員が 18.8%でした。

IR 部署等を設置した大学から、どのような活動から始めれば良いか模索している職員、具体的な分析方法や活用事例を収集したい教員の方々が参加されていました。また、九州・沖縄地区の参加者が多かった要因として、会場が福岡市内であったため近郊の方々には参加しやすかった点等が考えられます。

（大野 [鳥取大]）

■区分表（共通）

地域ブロック	説明
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
その他	米国

職種	職種区分	説明
職員	部長・課長等	部長、課長、課長補佐、副課長、専門員、グループ長、グループリーダー、総括主査、事務長、室長、次長、部長、参事、副参事、など
	係長・係員等	係長、主任、主査、主事、専門職員、課員、係員、チーム員、職員、スタッフ、所員、特任研究員、など
教員	教授等	学長、副学長、学長補佐、部局長、教授、など
	准教授・講師等	准教授、講師、助教、など